

# 牛窓の産業や歴史・文化が一堂に集う

## エーゲ海フェスティバル



異国情緒あふれる唐子踊



大勢の皆さんがエーゲ海フェスティバルを楽しみました



粟利郷太刀踊



綾浦太刀踊



総勢122人の朝鮮通信使行列



立岡脩二市長(左から2人目)が国書を朗読



行列の途中でもサムルノリを披露



ねぎ焼きも大繁盛

「日本のエーゲ海」と呼ばれ、温暖な気候と美しい自然、港町の文化がある牛窓。どこか懐かしい異国の文化が伝わるまち。この牛窓で恒例の『遊・SEA・牛窓エーゲ海フェスティバル2005』が11月13日、出島公園で開催されました。

牛窓の産業や歴史・文化が一堂に集うエーゲ海フェスティバルは、今年も大盛況で1万2千人の来場者でにぎわいました。

出島公園に設営された舞台上、牛窓伝統芸能で県指定文化財の唐子踊、綾浦太刀踊、粟利郷太刀踊が披露され、子どもたちの真剣な舞に、観客の皆さんから惜しみない拍手が送られました。

フェスティバルのもう一つの顔でもある朝鮮通信使行列も会場を沸かせました。牛窓町関町のエーゲ館前から会場まで約1.2キロを歩く総勢122人の異国情緒あふれる大行列では、チマチョゴリなどの衣装を身にまとった華やかな

姿が観客の目を魅了しました。韓国民団の皆さんの韓国伝統芸能「サムルノリ」も披露され、行列に華を添えました。朝鮮通信使セレモニーは、正使役の駐大阪大韓民国総領事館神戸事務所長金永喆所長と立岡脩二市長が日韓の善隣友好を願う「国書」を交換。同月12日に瀬戸内市と友好交流協定を締結した韓国・密陽市の李相兆市長らもセレモニーに参加しました。

また会場では、地域の皆さんがテントを連ね、地元産の野菜や牛窓沖で捕れた新鮮な魚やカニを販売。牛窓の海と山の幸をふんだんに使った栄養汁は、大人気で長蛇の列ができていました。

交流コーナーでは、牛窓と交流のある北海道幌加内町が出店し、特産品を販売。31団体が交流・特産品・バザー・食べ物・体験・お楽しみコーナーに分かれて出店し、フェスティバルを盛り上げました。